

みすてられた島(青年劇場)

言わせて! 今日の芝居 五十字劇評 No.23

【二〇代】

▼話し合いのシーンではあまり理解しにくいような言葉はあったけれども、話の内容やストーリーはとも理解しやすかったです。モメたりとか、少し重ための雰囲気のところがあったり、お母さんやお父さんのところで笑えたり、感情がわかりやすく伝わってきました。戦争の後ということでセットも少し古びた感じであったものの、小道具や衣装などで近未来感もでて

いてすごいなと思いました。舞台セットでは二階の部分使えるんだろかなと思いつつ、あんまり前半使っていないから、あ、使わないのかと思っていたけれど、最後の感動的なシーンで使っていてそこもすごいなと思いました。また、そのシーンでのスローモーションが全員合っていたし、間も合っていて、見とれていました。遠距離恋愛はつらいですね。

(女性)

▼すごく面白かったです。音響があんなに本物みたいに聞かせられるなんて、すごいなと思いました。お母さんとお父さんのやりとりがすごく面白くて大好きでした。特にお母さんのキャラが大好きです。みんなそれぞれ個性があって、一人一人の演技がすごいと、私もあんな演技ができるようになりたいと思います。本当に面白かったです。これからも頑張ってください！
い！応援しています！ (女性)
▼セットがどうなっているか知りたい。セリフの抑揚のつけかた、

どう動けば自然に見えるか学べた。いまいち笑い処がわからなかったが、お母さんとお父さんのやりとりが面白かった。お母さん好きです！ありがとうございます。

(女性)

▼正直、私には少し難しいように感じました。どう難しいかは、五十字だと説明できないけれど、大人になつたらわかる事なのかなと思います。

【四〇代】

(女性)

▼国の根本というものを改めて考えさせられた。つい、経済とか景気とか効率に目がいつてしまいが、国の基は「人」、そして「人と人との信」だった。

(男性)

【六〇代】

▼難しそうな話と思いきや、家族や友達と近所さんをまき込んで、でもいろいろと考えさせられるお芝居でした。

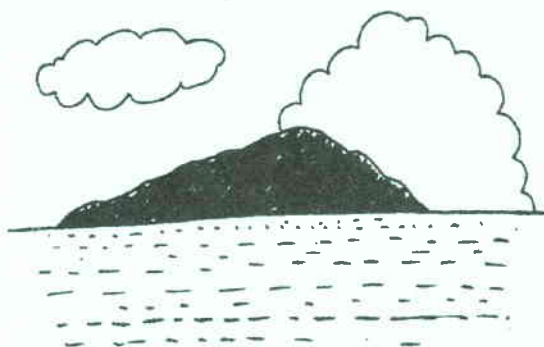
(女性)

▼笑えたのは、島長の奥さん！私もそうかも！生活の中に、政治ありと強く感じさせられました。憲法は生活の中に！

(女性)

▼印象に残ったのは、「人間至上主義」と「一番弱い立場から物事を考えていく」(表現は違うが)という言葉。それから、軍隊を持たないという考え方。コストリカという国が思い浮かんだ。物事を進めていくには、多様な意見・選択技があり、互いの考え方をしっかり理解しながら議論していく必要性をあらためて感じた。群像劇としてもしつかり出来ている。

(男性)





▼戦後、現実にあつた話と聞き少々どんなお芝居になつていかと、いつになく興味を持ちましたが、私個人としては、戦後のそのままのお芝居をやつてほしかったです。二〇XX年と現代に置き換えてのお芝居ですが、何かしつくりきませんでした。七列中央の席のせいかな、音楽が(効果音)雑音になつて聞こえませんでした。

(女性)

▼昨今の政治、社会状況に鑑み、この芝居は、国より見捨てられ、独立し、島の憲法を作る。考えさせられた。

(男性)

▼この劇で島長の年齢設定が六一歳とあり、私と同年齢ということもあり島長の思いに感情移入してこの芝居を観た。本土からみずてられ、独立を余儀なくされることになり、憲法を作るといふ、晴天の霹靂のなかで、家族や日頃から親しく接している島の人たちと喧々譁々の議論を繰り広げていく。劇が進むにつれ、それまで島民が心の奥に秘めていた思いが、次々に露わになつていく。このひとは、こんな事を考えていたのか? 切迫した状況に追い込まれると、人間は各自、本音をぶつけあつていく。結局、島民と本土から移住して来る新島民の最大公約数としての理念を、本土の経済至上主義から、貧しくとも心豊かに生きていく合意形成を図る。昨今の政治社会状況に鑑みると、この大切な民主主義のプロセスが欠如している気が

してならない。作者及び役者の思いが如実に込められた力作で見応えがあつた。ラスト:そして船が行く:願わくば、島長の長男の恋を叶えさせてほしかった!!(男性)

▼「みすてられた島」は『沖繩・福島』と重なる。棄民扱いされ、もはや守るべき国民ではないという対応である。けれど当事者は黙つていない。抵抗し、たたかっている。その思いを共有したい。

私も日常的に見捨てられていることを自覚できるから。でも、現実には厳しい。なぜなのか。それは政治が生活から遠い存在になつている。政治家の責任は重たいが、それに異議申し立てをしない多くの国民(主権者)。“沈黙は静かなる統治への賛意”という言葉がある。それでいいのだろうか。(男性)

▼現在の社会情勢を思わせるセリフや、憲法の話もなるほどと領けた。秦江さんの絶妙なセリフ回しが良かった!!(性別不明)

▼言葉を武器にしよう!のセリフがあり、合点がいく。家族、恋人、

村、島、国。基本は言葉。話し合いなのだ。(女性)

【七〇代】

▼「みすてられた島」と云う暗いイメージのテーマを楽しく見せて頂け、現在の世相を考えさせられました。(女性)

▼民主政治の建前があつても、生活実感では違和感やわりきれなさが多い。そんな気持ちに真正面から向き合わされた。(女性)

▼新憲法が發布された当時の国民の感情が、よみがえります。忘れてしまったことを、思い出させてくださいました。(女性)

編集スタッフから

▼劇評の投稿が減つてます。今日の芝居の感想を忘れずに! 劇評の輪でつながりこの輪をずっと大きくしていきたいませんが、待っています。

▼【二〇代】には青少年劇場例会参加者の感想が入っています。今年には公会堂で座席数が少ないため、後半例会に分散して参加しています。